

2017年 12月 20日

各位

- ・応用物理学会放射線分科会医療放射線技術研究会
- ・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
（首都大学東京大学院人間健康科学研究科量子イメージング技術者養成コース）
- ・首都大学東京大学院人間健康科学研究科放射線科学域医学物理士コース

共催

「放射線を利用した医用イメージング装置における画像再構成の基礎と応用」

の開催案内について

近年の医学の進歩は目覚ましいものがあり、とくにゲノム科学の成果をがん医療へ活用する試みなどはその最たるものです。これらの科学の進歩とともに個々の状況に応じたがん医療の最適化が進むことが容易に想像されます。そのような個別化医療を可能とする診断を行うため、医用イメージング装置の重要性がますます高まっています。特に、CT装置は体の中を詳細に観察できるほか、PETやSPECTのような核医学装置は、生体の機能的な情報を画像化し、病態を詳しく観察することが可能です。これらの装置では、体の外で観測した情報から内部の情報を推定する「画像再構成」の原理に基づいたイメージングを行っています。そこで、本研究会の今回のテーマは「放射線を利用した医用イメージング装置における画像再構成の基礎と応用」です。画像再構成の基礎を含め、最新の理論や、PET、SPECT、X線CTなどの具体的な装置への応用について、専門家の先生方に具体的にお話を頂きます。

医療放射線技術研究会は放射線物理の医療応用について情報交換することを目的としています。臨床現場に携わる医師・診療放射線技師・医学物理士から計測技術の医療応用を目指している研究者まで広くご参加をお待ちしています。また、本研究会は首都大学東京「多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン*との共催であり、本シンポジウムが専門医療人の人材育成の一助となることも期待しております。奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

参加希望の方につきましては、末尾のフォームを記入の上【2月25日まで】に量研機構放医研・田島(tashima.hideaki@qst.go.jp)までご連絡ください。

記

開催日：平成30年3月4日（日）

場所：首都大学東京荒川キャンパス 大視聴覚室

参加費：無料（懇親会は会費4,000円予定、当日現金を集めます）

定員：100名程度

後援：日本医用画像工学会

備考：医学物理士認定機構の業績評価点の対象（コードF1,F2単位数3）として

出席証明書を発行いたします。認定番号: JBMP-2017-F-15

*多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン連携大学

首都大学東京、東京大学、横浜市立大学、東邦大学、自治医科大学、北里大学

プログラム

- 13:00-13:25 受付
- 13:25-13:30 開会の辞 眞正 浄光 (首都大学東京)
- 13:30-14:15 医療機器における画像再構成の基礎
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：篠原 広行 先生 (首都大学東京)
- 14:15-15:00 最先端 CT 画像再構成の研究動向
— スペースビューCT・インテリア CT・低線量 CT への応用—
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：工藤 博幸 先生 (筑波大学システム情報系)
- 15:00-15:45 PET データの動態解析
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：渡部 浩司 先生 (東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)
- 15:45-15:55 休憩 (10 分)
- 15:55-16:40 SPECT における画像再構成と画質の改善
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：尾川 浩一 先生 (法政大学理工学部)
- 16:40-17:25 PET 装置開発と画像再構成
(講演 40 分 質疑 5 分)
講師：北村 圭司 先生 (株式会社島津製作所 基盤技術研究所)
- 17:25-17:30 閉会の辞 青木 徹 (静岡大学)
- 18:00- 懇親会

=====

【参加申込フォーム】

氏名：

所属：

懇親会：参加・不参加 (どちらか選択ください)

=====

世話人：

量研機構放医研 田島英朗 (tashima.hideaki@qst.go.jp)

首都大 眞正浄光 (shinsho@tmu.ac.jp), 井上一雅 (kzminoue@tmu.ac.jp)